

## ○ 自殺総合対策

## (1) 要 旨

本県の自殺者数は平成 23 年以降、全体的には減少傾向となっているが、若年層の自殺者数は横ばいで推移している。また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い自殺リスクが高まる懸念があるため、若者こころの電話相談窓口の 24 時間対応や L I N E 相談窓口の拡充継続により相談体制の充実を図り、第 2 次自殺総合対策行動計画に基づき総合的な自殺対策に取り組む。

## (2) 自殺者の状況

厚生労働省「人口動態統計調査」によると、令和元年の本県の自殺者数は、前年より 22 人少ない 564 人となった。

(単位：人)

暦 年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 元
自殺者数	804	854	832	751	759	674	682	602	588	586	564
29歳以下	75	84	104	95	93	79	77	78	71	83	81
19歳以下	12	16	22	12	13	12	14	13	18	23	22

## (3) 令和 3 年度の取組

(単位：千円)

区 分		内 容	R3 当初
自殺総合対策事業費	若年層対策	・若年層こころのセルフケア講座の開催 ・若者こころの悩み相談窓口 24 時間 365 日 ・I C T 活用相談窓口周知事業の実施 等	110,589
	自殺未遂者支援	・自殺未遂者支援研修の実施	
	自死遺族支援	・自死遺族相談会、遺族のつどいの会の開催 ・自死遺族支援研修会の開催	
	対面電話相談	・こころの電話相談 ・いのちの電話休日・夜間委託	
	人材養成	・ゲートキーパー養成研修の実施 ・企業における自殺対策人材養成研修の実施	
	普及啓発	・自殺予防週間、自殺対策強化月間キャンペーン	
	災害時自殺対策	・災害時のメンタルヘルス研修 ・災害時自殺対策民間団体補助	
	市町支援	・市町自殺対策事業への助成	
	静岡 DPAT 体制整備	・静岡 D P A T 連絡協議会、研修会の開催 ・災害拠点精神科病院設備等整備	
	地域自殺対策推進センター	・自殺対策連絡協議会 等	
SNS 悩み相談窓口事業費	L I N E 相談の実施 (通常分) ・5 月、8 月、3 月の各平日 10 日間、土日祝日	30,500	
	L I N E 相談の実施【コロナ拡充分】 ・上記以外の平日		
計			141,089

#### (4) LINE相談の拡充

若年層を中心に幅広い世代に利用が広がっている無料通信アプリLINEを活用した相談窓口の通年化を継続して実施する。

##### ア 令和2年度LINE相談

区分	内容
相談期間	【4月～3月】 集中実施期間（5月、8月、3月の各平日10日間） （午後3時～午後9時） 土日祝日（午後5時～午後9時） 【6月以降（コロナ拡充分）】 集中実施期間以外の平日（午後3時～午後9時）
相談体制	公認心理師等の有資格者 集中実施期間（5月、8月、3月）：7～12回線（3～5名） 集中実施期間以外の平日：2回線（1名） 土日祝日：3回線（1名）

##### イ 令和2年度LINE相談実績（利用者延べ人数）

（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
男	3	48	86	44	37	66	42	46	28	400
女	38	195	371	240	169	300	211	164	177	1,865
不明	2	43	46	21	20	32	22	26	13	225
計	43	286	503	305	226	398	275	236	218	2,490

##### ウ 令和3年度LINE相談

区分	内容
相談期間	【通年】 365日（午後4時～午後9時）
相談体制	公認心理師等の有資格者 集中実施期間（5月、8月、3月の各平日10日間）：7回線（3名） 上記以外の平日：2回線（1名） 土日祝日：3回線（1名）